

長崎県内の具体的な取組紹介



公立小学校（長崎市立山里小学校）



SDGs（エス・ディ・ジーズ）という言葉はよく聞かれるようになり、カラーホイールのマークも見かけることが多くなりました。それでは、SDGs については、学校の何年生のどの教科で教わるのでしょうか。実は、小学校にも中学校にも「この教科で学びます」という決まりはありません。逆に言うと、すべての教科や学校教育全体で学んでいくものだと言えるのです。一つの例として、長崎市立山里小学校の取組の一部を紹介します。



長崎市立山里小学校は、1945年8月9日の原爆投下爆心地からわずか600mの場所に位置していたため、大きな被害を受けました。ですから伝統的に平和教育に力を入れて取り組んでいます。まさに、SDGsの目標16「平和と公正をすべての人に」を進める上で最適な学校だといえるでしょう。学校行事や総合的な学習の時間で平和の学びを深めています。また、「キャリア教育」の一環で様々なキャリアをもつ外部講師の方に来校していただく取組も行っています。令和3年度は、長崎出身のシンガーソングライターである上奥まいこさんに来ていただきました。上奥さんはプロの歌手であると同時に、長崎から平和を発信するための歌を作ったり、海の自然を守ったりする活動などをされています。そこで「平和・音楽・SDGs」というテーマでお話をさせていただきました。つまり、学校におけるSDGsとは、それぞれの学校で行われている特色ある教育活動を、SDGsの考え方と結び付けることから始まるのです。



【メッセージ】

皆さんの学校の特色ある取組は何ですか？ 総合的な学習の時間やキャリア教育では、どんなことが行われていますか？ それらの活動はきっとSDGsの17の目標のどれかにつながっているはずです。SDGsと結び付ける目をもって、日々の学習や生活を見つめ直してみてください。